



DMXマルチワクチン 取扱説明書



この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保存し必要なときにお読みください

安全上のご注意

- ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので必ずお守り下さい。
- ◆次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、 死亡または重傷 などを負う可能性が想定される内容です
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、 傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生 が想定される内容です

- ◆次の絵表示の区分はお守りいただく内容を示しています。

 禁止	このような絵表示は、してはいけない「 禁止 」内容です。
 強制	このような絵表示は、必ず実行していただく「 強制 」内容です。

⚠ 警告

- ⊘ 分解、改造をしない
火災、感電、故障の原因になります。
- ⊘ 金属類を差し込まない
隙間などから金属類を差し込んだりしないで下さい。火災、感電、故障の原因になります。
- ⊘ 濡らさない
水などの液体が入ると発熱、火災、感電、故障の原因になります。
- ❗ ACコンセントは確実に差し込む
コンセントの差込が不完全だと発熱、火災、感電の原因になります。
- ❗ コネクターは確実に差し込む
コネクターの差込、締め付けが不完全だと発熱、火災、感電の原因になります。
- ⊘ ACコードを傷つけない
コードを無理に曲げたり、加工したり、引っ張ったり、重い物を乗せたりしないで下さい。
- ❗ 異常が起きたときは
万一、発煙、異臭、異常音などがあつた時は直ちにACコンセントを抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因になります。

⚠ 注意

- ⊘ 煙や湯気が当たる場所に置かない
火災、感電、故障の原因になります。
- ⊘ 湿気やほこりの多い場所に置かない
火災、感電、故障の原因になります。
- ⊘ 不安定な場所や振動の多い場所に置かない
落ちたり、倒れたりするとけが、故障の原因になります。
- ⊘ ACコンセントから抜くときはプラグをもって抜く
コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電、故障の原因になります。

概要

特定のDMX信号を一部の機器でうまく受信出来ないことが有ります。
そんなときに本機を間に入れることにより受信できるかたちに変換します。

設置について

本機の設置にあたっては以下の注意を守って下さい。



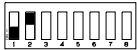
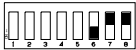
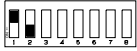

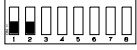

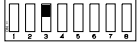
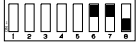








- 直射日光の当たる場所、周囲温度・湿度の高い場所、ほこりの多い場所での使用は避けて下さい
- DMX信号ケーブルは電源ケーブルと一緒にしないで下さい。またマイク等の小レベル信号のケーブルと一緒にするとノイズを与える可能性がありますので、できるだけ避けて下さい。
- ケーブル類の着脱は必ず電源がOFFの状態で行って下さい。
- 電源は定格以内で、変動やノイズの少ない物を使用して下さい。また調光ユニットの出力は絶対に使用しないで下さい。

操作説明

接続

- 1) 卓からの出力をINに差し込みます。
OUTは本機で設定したDMXのフレーバーに変換して出力します。
- 2) すべての接続が終了したら、電源を差し込んで下さい。

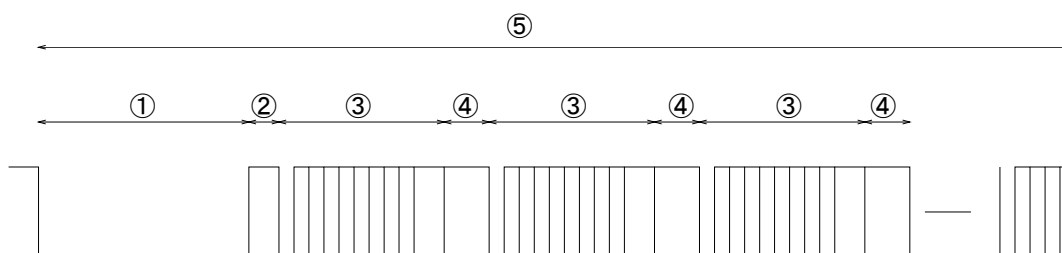
DMX設定

Break Timeの設定	 100 μ Sec	Byte Per Packet の設定	 64ch
	 180 μ Sec		 128ch
	 260 μ Sec		 192ch
	 340 μ Sec		 256ch
Mark After Break の設定	 20 μ Sec		 320ch
	 800 μ Sec		 384ch
Inter Packet Timeの設定	 0 Sec		 448ch
	 10mSec		 512ch
Inter Byte Time の設定	 0 Sec		
	 44 μ Sec		

※■はスイッチノブを表しています

用語の説明

DMX信号は下図の通りです。各部分の時間は厳密に規格化されておらず、規格値内での各社選定値の違いが、うまく受信できない原因になることがあります。（いわゆる相性）



①Break

規格では88 μ Sec以上となっています。本機では100 μ ~ 340 μ Secまで80 μ Sec単位で設定できます。

②Mark After Break

8 μ Sec以上。本機では20 μ と800 μ Secの切り替えです。

③この部分がデータ（2番目からが調光データ）になります。この部分は規格上決まっているので変更はできません。（この③の部分を、本機ではByteと呼んでいます）

④Inter Byte Time

Byte間の時間です。1ch分のデータ③を送って次のチャンネルのデータを送るまでの時間です。規格では0Sec以上です。本機では0秒と44 μ Secの切り替えです。

⑤1回分のデータすべての部分です。本機ではPacketと呼んでいます。

Inter Packet Timeとは1回分データを送って次の一回分のデータを送るまでの時間です。本機では0Secと10mSecの切り替えです。

Byte Per Packetとは1パケットに何チャンネル分のデータを送るかを設定します。本機では64chから512chまで64ch単位で設定できます。通常は512chすべて送る設定にしておきます。

本機を使って設定する場合、受ける機器がどのような信号なら受けられるかを知る必要があります。DMXテスターなどで調べるのが最良ですが、だいたいの場合まずBreakを延ばしてみます。次にMark After Break、Inter Packet Time、Inter Byte Timeを順に数値の大きい方に切り替えてみて下さい。Byte Per Packetは特殊な場合を除いて512chのままが良いです。

仕様

入力 コネクタ 信号形式	ノイトリックXLRタイプ 5Pまたは3P DMX512
出力 コネクタ 信号形式	ノイトリックXLRタイプ 5Pまたは3P DMX512
電源 定格電力 動作温度、湿度	AC90V-240V 50/60Hz 5W 0℃~50℃、10%~85% (結露無し)

本製品及び本書の内容は予告なしに変更される事がありますのでご了承下さい

(本書製作日2020年11月6日)